

令和5年度「南城市幼小連携事業」活動記録簿
おひさま保育園公開保育及び合同研修会 令和5年8月23日(金)

幼小連携アドバイザー	伊集 恒子	実施場所	おひさま保育園・大里南小学校
実施日時	公開保育9時10分～9時50分・合同研修会10時15分～12時		
目的	保育園の公開保育を通して幼児期の発達や学びを理解し、「子どもの姿を中心に」保幼小中の先生方が語り合い切れ目のない教育を目指す。		
対象者	大里南小学校・大里中学校・大里南小学校区幼児教育施設の職員、その他		
参加者	小中12名、幼児教育施設20名、その他1名、行政10名、計43名		

1 内容

〈公開保育〉おひさま保育園 9:00～ 9:50 *保育参観終了後大里南小学校へ移動



〈合同研修会〉大里南小学校 10:15～12:00 司会：小学校1年生担任



2 成果（おひさま保育園）

- ・これまでの一斉指導から子ども主体の保育へと少しずつ変わることができた。
- ・日々の保育の振り返りができ質の向上につながった。環境を園全体で見直すきっかけとなった。

3 課題（おひさま保育園）

- ・0～2歳児の年齢の応じた興味関心のある玩具を研究し、職員手作りの玩具を増やしていく。

4 改善策（おひさま保育園）

- ・遊びこむための工夫として、登園後、すぐに庭や屋上で遊ぶことができるような環境を整えていく。

5 指導助言「おひさま保育園から学んだこと」

- ・ドキュメンテーション ・0歳児の読み取り（発達していく様子がよく分かる）
- ・4歳、5歳児が遊びの中で学んでいることを読み取っている
- ・製作が自由にできるような配置。製作遊びがどんどん発展していく
- ・色水遊び、シャボン玉遊び、水遊びへの工夫
(どうやったら楽しくなるのか、保育者がワクワクしている)

6 その他 *参加者からの学びや感想

- ・グループ協議で“目指す子ども像”を話し合う。以下7点に要約する

〈目指す子ども像〉

- ①自分の思いを伝えながらも他人の思いを聞き、受け入れる子（他人を尊重できる子）
- ②失敗を恐れず、色々なことに挑戦する子。③好きなことや興味ある物を見つけ楽しめる子。
- ④色々なことに意欲を持ち楽しめる子。⑤友達とイメージを共有して遊びを発展させられる子。
- ⑥困難にも負けず自ら解決する子。⑦自分のいいところが分かる子。

- ・屋上では、水を使った遊び、色水遊び、ウォータースライダー、氷、シャボン玉、はかりで重さを図る環境があり、子ども達は好きな遊びを繰り返し試したり工夫したり満足して遊ぶ姿が良かった。
- ・保育園・こども園・小学校・中学校、各立場の意見から出た子ども達の像はつながっている。
- ・小学校を見通して、5歳児に育てたい子ども像を出し合えてみんなで共有できる場を持てたことがとても良かった。
- ・計りを使つての遊びを取り入れていくことで、子ども達の数字に親しむ興味を持つ。子どもの遊びはいつも新しい。
- ・小学校・中学校の先生方の話を聞いて。保育園での育ちが大事になってくることを改めて感じた。これからも丁寧に楽しむ保育をしていきたいです。
- ・保育園・幼稚園での文字の読み書きをしっかりと教えているのかと考えていたが、遊びや環境の中に取り入れて自然に学びにつなげていることが分かった。